

キューバ共和国水産研究センター 海面養殖プロジェクトリーダー  
Rodrigo Reyes Canino (ロドリゴ・レージェス・カニ  
ーノ) 氏のJICA研修  
2009年12月25日 ~ 2010年1月29日



ロドリゴさん

キューバの海面養殖振興に必要な魚類の種苗生産技術を習得するため、餌生物の培養、マダイの採卵・ふ化・稚仔魚・親魚の育成等について当センターで約1ヶ月間の研修を受けられました。  
その一部を紹介します。



マダイ親魚水槽のオーバーフローにセットした採卵ネットから、受精卵を回収します。



栄養強化したS型ワムシを 1kl タンクから濾し取ります。



濾し取った栄養強化ワムシを仔魚に給餌します。



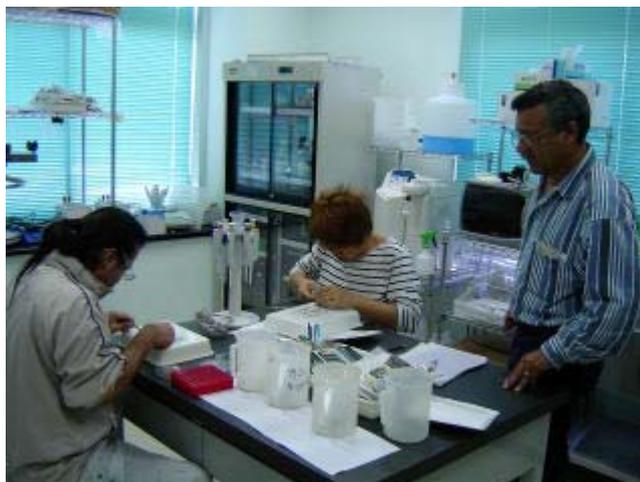
昼間には偏って分布する仔魚が夜間には水槽内に均一に分散するため、夜間に計数を行います。



仔魚育成水槽から底掃除機で吸い上げた沈殿物中の死骸を計数します。



投影機上で仔魚の大きさを測定します。



イリドウイルス検査。



採卵を終えたマダイ親魚を海面生け簀に戻しています。



魚類養殖業者の生け簀を視察し、意見交換。



研修成果発表会后、センター職員と。スペイン語を話すロドリゴさんの研修では、最初から最後まで通訳の小林さん(2列目中央)に大変お世話になりました。この場をお借りして小林さんに御礼申し上げます。 m(. .)m

ロドリゴさんは、栽培漁業センターでの研修内容を基に、スペイン語版の養殖マニュアルを作成され、JICAでの研修報告会でも高く評価されているそうです。

一ヶ月間、おつかれさまでした。